

幕別町の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況 (普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (18年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 17年度の人件費率
18年度	27,445 人	15,560,875 千円	205,878 千円	2,240,517 千円	14.4 %	15.0 %

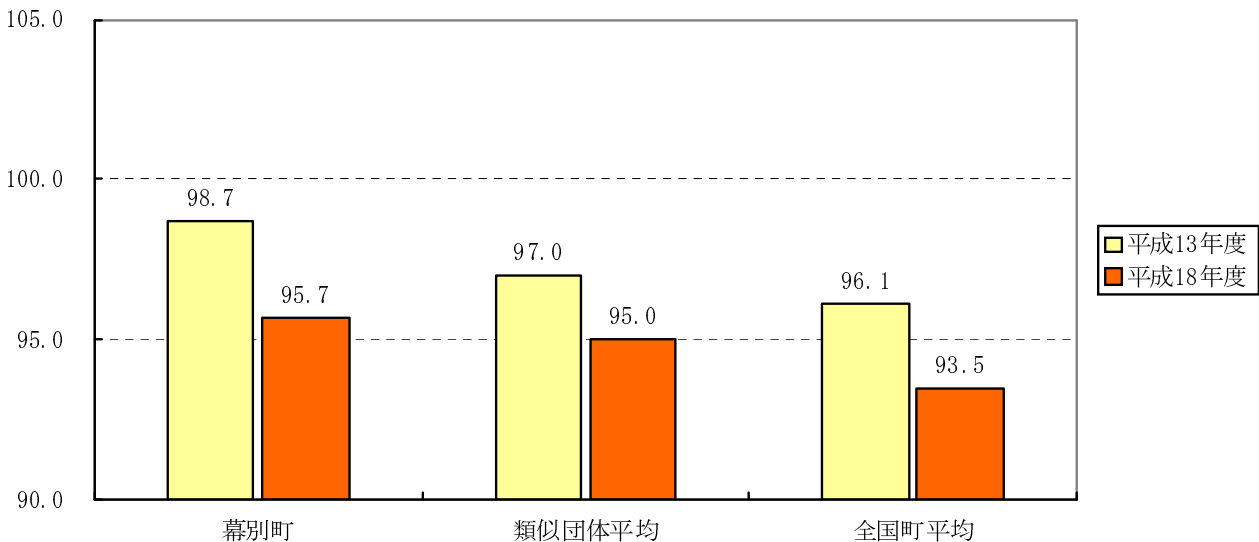
(2) 職員給与費の状況 (普通会計決算)

区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団 体平均一人当 たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
18年度	252 人	978,564 千円	219,970 千円	406,640 千円	1,605,174 千円	6,370 千円	6,171 千円

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
2 職員数は、平成18年4月1日現在の人数です。

(3) 特記事項 特になし。

(4) ラスパイレス指数の状況 (各年4月1日)



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成19年4月1日現在）

① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
幕別町	43.6歳	341,794円	403,321円	380,422円
北海道	—歳	—円	—円	—円
国	40.7歳	325,724円	—	383,541円
類似団体	—歳	—円	—円	—円

② 技能労務職

区分	公務員					民間			参考
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	A/B
幕別町	47.8歳	6人	348,750円	391,995円	377,467円	—	—	—	—
うち、自動車運手	47.8歳	6人	348,750円	391,995円	377,467円	自家用自動車 運手	50.4歳	257,500円	1.52
北海道	—歳	—人	—円	—円	—円	—	—	—	—
国	48.8歳	5,193人	287,094円	—	320,514円	—	—	—	—
類似団体	—歳	—人	—円	—円	—円	—	—	—	—

区分	参考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
幕別町	—	—	—
うち、自動車運手	6,418,053円	3,386,400円	1.90

※ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用しています。(平成16～18年の3ヵ年平均)

※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではありません。

※ 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値です。

③ 教育職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
幕別町	40.4歳	328,167円	386,631円
北海道	—歳	—円	—円
類似団体	—歳	—円	—円

(注) 1 「平均給料月額」とは、平成19年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。

また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものです。

(2) 職員の初任給の状況（平成19年4月1日現在）

区分		幕別町	北海道	国
一般行政職	大学卒	170,200円	170,200円	170,200円
	高校卒	138,400円	138,400円	138,400円
技能労務職	高校卒	138,400円	—	—
教育職	大学卒	170,200円	—	—
	高校卒	138,400円	—	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額（平成19年4月1日現在）

区分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	—円	327,500円	360,460円
	高校卒	—円	266,250円	299,600円
技能労務職	高校卒	—円	—円	—円

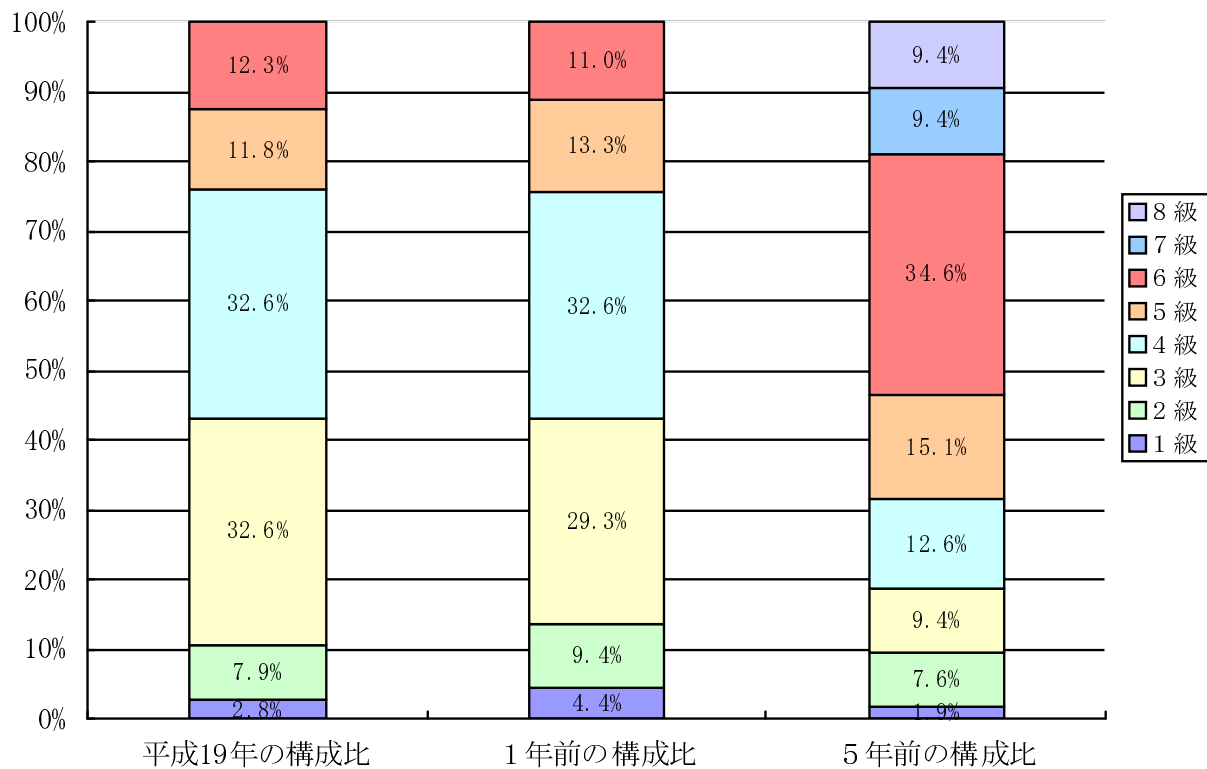
3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況（平成19年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事、技師、保育士、保健師、栄養士又は教諭の職務 主事補又は技師補の職務	5人	2.8%
2級	主任の職務	14人	7.9%
3級	主査の職務	58人	32.6%
4級	主幹、次長又は場長の職務 係長、副主幹、保育士長、技師長又は教諭長の職務 特に困難な業務を行う主査の職務	58人	32.6%
5級	課長、参事、所長、館長、農業委員会事務局長、監査委員事務局長の職務 重要な業務を行う主幹、次長、場長の職務	21人	11.8%
6級	部長、室長、会計管理者、支所長、議会事務局長の職務 重要な業務を行う課長、参事、所長、館長、農業委員会事務局長、監査委員事務局長の職務	22人	12.3%

(注) 1 幕別町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(注) 平成18年に8級制から6級制に変更しています。(旧給料表の1級及び2級並びに4級及び5級をそれぞれ統合)

(2) 昇給への勤務成績の反映状況

実施していない。

(注) 各欄中「-」を表示している数値等については、国等から情報提供があり次第、随時更新します。

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

幕別町	北海道	国
1人当たり平均支給金額(平成18年度) 1,702千円	1人当たり平均支給金額(平成18年度) —千円	—
(平成18年度支給割合) 期末手当 3.00月分 勤勉手当 1.45月分 (1.60)月分 (0.75)月分	(平成18年度支給割合) 期末手当 3.00月分 勤勉手当 1.45月分 (1.60)月分 (0.75)月分	(平成18年度支給割合) 期末手当 3.00月分 勤勉手当 1.45月分 (1.60)月分 (0.75)月分
(加算措置の状況) 職務の級による加算措置 役職加算 5%~15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5%~20% 管理職加算 10%~25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5%~20% 管理職加算 10%~25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合です。

【参考】 勤勉手当への勤務成績の反映状況 (一般行政職)

実施していない。

(2) 退職手当 (平成19年4月1日現在)

幕別町			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分	勤続20年	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分	勤続25年	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分	勤続35年	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分	最高限度額	59.28月分	59.28月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置2~20%加算		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置2~20%加算	
1人当たり平均支給額	22,506千円	24,781千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した職員に支給された平均額です。

(3) 時間外勤務手当 (普通会計決算)

支給実績 (平成18年度決算)	75,203千円
職員1人当たり平均支給年額 (平成18年度決算)	315千円
支給実績 (平成17年度決算)	74,111千円
職員1人当たり平均支給年額 (平成17年度決算)	299千円

(注) 各欄中「—」を表示している数値等については、国等から情報提供があり次第、随時更新します。

(4) その他の手当（平成19年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (平成18年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (平成18年度決算)
扶養手当	①配偶者 13,000円 ②配偶者以外 6,000円 (扶養親族でない配偶者がある場合 6,500円) (配偶者がいない場合 11,000円) ③15歳に達する日以後の最初の4月1日から22歳に達する日以後の最初の3月31日までにある子 加算 5,000円	同じ		35,824千円	237,813円
住居手当	①持家の場合 14,000円 ②家賃の額が12,000円を超える借家の場合 27,000円を限度として 家賃の額に応じた額	異なる	持家に対する支給額	32,777千円	188,368円
通勤手当	①交通機関利用者 55,000円(限度) ②自動車等使用者 通勤距離に応じ 2,000円～24,500円(40km以上20%加算あり)	異なる	通勤距離が40km以上の場合、現行の額に20%加算	12,622千円	83,094円
管理職手当	定額支給 ・部長職 62,000円 ・課長職 49,600円又は47,000円 ・課長補佐職 39,200円又は37,500円	同じ		30,542千円	610,834円
寒冷地手当	11月から翌年3月まで、基準日における世帯区分等に応じ、月額10,340円～26,380円	同じ		26,370千円	110,685円

(注) 各欄中「－」を表示している数値等については、国等から情報提供があり次第、随時更新します。

5 特別職の報酬等の状況（平成19年4月1日現在）

区分		給料月額等		
給料	町長	833,000円	(参考) 類似団体における最高/最低額	
	副町長	686,000円	－円/	－円
	収入役	610,000円	－円/	－円
報酬	議長	323,000円	－円/	－円
	副議長	258,000円	－円/	－円
	議員	212,000円	－円/	－円
期末手当	町長 副町長 収入役	(平成19年度支給割合) 4. 45月分		
	議長 副議長 議員	(平成19年度支給割合) 4. 45月分		
退職手当	町長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	副町長	給料月額×在職年数×5.313	17,702,916円	任期毎
	収入役	給料月額×在職年数×3.355	9,206,120円	任期毎
		給料月額×在職年数×2.937	7,166,280円	任期毎

(注) 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期（4年＝48月）勤めた場合における退職手当の見込額です。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

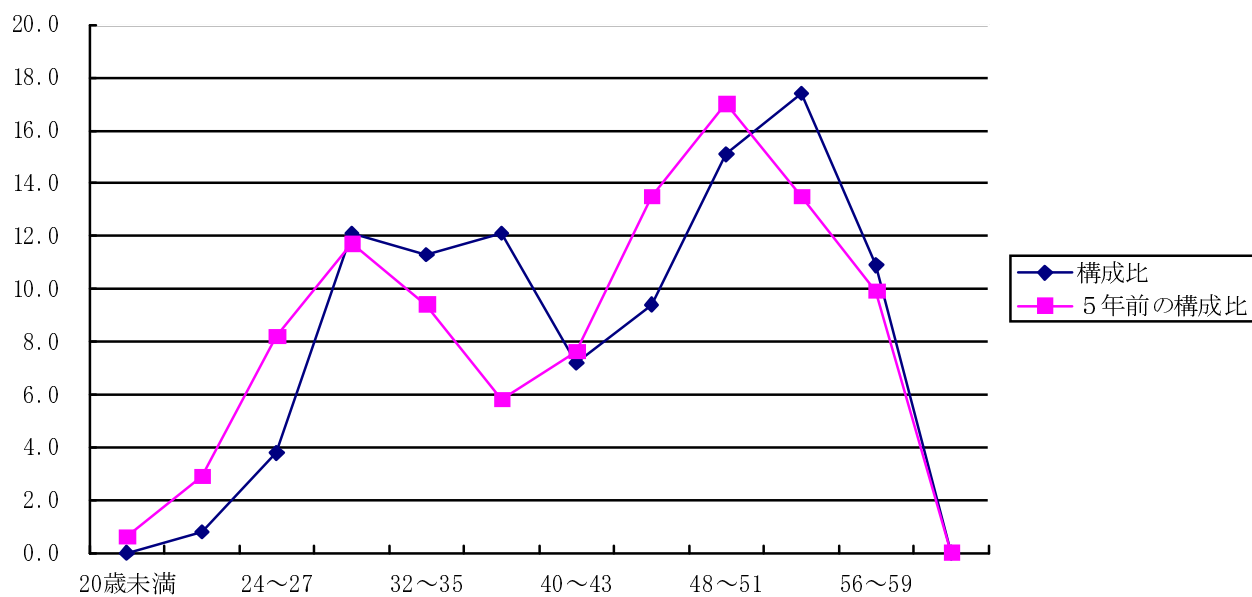
(各年4月1日現在)

部門		区分	職員数		対前年 増減数	主な増減理由
			平成18年	平成19年		
普通会計部門	一般行政部門	議会	5	5	0	欠員補充 欠員不補充
		総務	59	60	1	
		税務	12	11	-1	
		労働	1	1	0	
		農林水産	29	29	0	
商工		5	3	-2		
土木		28	27	-1		
民生衛生		56	56	0		
	計	210	207	-3	<参考> 人口1万人当たりの職員数 75.42人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 一人)	
	教育部門	42	38	-4	欠員不補充	
	小計	42	38	-4	<参考> 人口1万人当たりの職員数 13.85人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 一人)	
会計部門 公営企業等	水道	8	8	0	欠員不補充	
	下水道	4	4	0		
	その他	10	8	-2		
	小計	22	20	-2		
合計		274 [283]	265 [283]	-9 [0]	<参考> 人口1万人当たりの職員数 96.56人	

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数です。

2 []内は、幕別町職員定数条例の職員数の合計です。

(2) 年齢別職員構成の状況 (平成19年4月1日現在)



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	人 0	人 2	人 10	人 32	人 30	人 32	人 19	人 25	人 40	人 46	人 29	人 0	人 265

(注) 各欄中「-」を表示している数値等については、国等から情報提供があり次第、随時更新します。

7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 17年度の総費用に占める 職員給与費比率
18年度	千円 607,812	千円 △ 89,477	千円 41,393	% 6.8	% 6.0

区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)市町村 平均一人当た り給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
18年度	人 6	千円 24,591	千円 6,520	千円 10,282	千円 41,393	千円 6,899	千円 —

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。

2 職員数は、平成19年3月31日現在の人数です。

イ 特記事項

特になし。

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況（平成19年4月1日現在）

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
幕別町	45.6歳	355,983円	574,876円
団体平均	—歳	—円	—円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

幕別町		団体平均	
1人当たり平均支給額（平成18年度） 1,714千円		1人当たり平均支給額（平成18年度） —千円	
(平成18年度支給割合)		(平成18年度支給割合)	
期末手当 3.0 月分 (1.6) 月分	勤勉手当 1.45 月分 (0.75) 月分	期末手当 —月分 (—) 月分	勤勉手当 —月分 (—) 月分
(加算措置の状況) 職務の級による加算 5～15%		(加算措置の状況)	

(注) () 内は、再任用職員に係る支給割合です。

イ 退職手当 (平成19年4月1日現在)

幕別町			団体平均		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分	勤続20年	一月分	一月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分	勤続25年	一月分	一月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分	勤続35年	一月分	一月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分	最高限度額	一月分	一月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置2~20%加算		その他の加算措置		
1人当たり平均支給額	(退職者無し)				

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した職員に支給された平均額です。

ウ 時間外勤務手当

支給実績 (平成18年度決算)	2,535千円
職員1人当たり平均支給年額 (平成18年度決算)	507千円
支給実績 (平成17年度決算)	2,178千円
職員1人当たり平均支給年額 (平成17年度決算)	436千円

(注) 時間外勤務手当には休日勤務手当を含む。

エ その他の手当 (平成19年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 (平成18年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額 (平成18年度決算)
扶養手当	①酒配偶者 13,000円 ②酒配偶者以外 6,000円 (扶養親族でない酒配偶者がある場合 6,500円) (酒配偶者がいない場合 11,000円) ③15歳に達する日以後の最初の4月1日から22歳に達する日以後の最初の3月31日までにある子加算 5,000円	同じ		928千円	154,667円
住居手当	①持家の場合 14,000円 ②家賃の額が12,000円を超える借家の場合 27,000円を限度として家賃の額に占じた額	同じ		1,446千円	241,000円
通勤手当	①交通機関利用者 55,000円 (限度) ②自動車等使用者 通勤距離に応じ 2,000円~24,500円 (40km以上20%加算あり)	同じ		206千円	51,300円
管理職手当	定額支給 ・部長職 62,000円 ・課長職 49,600円又は47,000円 ・課長補佐職 39,200円又は37,500円	同じ		608千円	607,968円
寒冷地手当	11月から翌年3月まで、基準日における世帯区分等に応じ、月額10,340円~26,380円	同じ		797千円	132,817円

(注) 各欄中「-」を表示している数値等については、国等から情報提供があり次第、随時更新します。